

コード	402050102
記入日:	H22.6.3

## 事務事業途中評価表

課コード	115
課名	農林課
課長名	田本耕一
担当者	浜辺伊三美

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	農林漁業体験民宿施設整備事業
----------	----------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6		
施策コード	402	施策名称	農林業の振興	項コード	1		
基本事業コード	40205	基本事業名称	交流農業の推進	目コード	3		
事務事業コード	4020501	事務事業名称	グリーンツーリズム推進事業費	細目コード	907		
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町農業振興奨励事業交付要綱				

**計画(PLAN)** ※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標					
(対象1)	民宿経営者	(対象指標1)	23,719人(H21.4.1)				
(対象2)		(対象指標2)					
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
*****	民宿数4戸/民宿計画4戸	*****	*****	*****	補助申請4件÷計画件数4件	*****	
		①	補助申請数	4件	100%		平成21年度
		(達成率分析)	改修希望民宿4件から申請があり審査した。				
*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	
(達成率分析)							
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
民宿(施設)の改修を行うことにより、農林漁業体験民宿の推進を図る。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
		*****	*****	*****	民宿数4戸/民宿計画4戸	*****	
		①	民宿数	4戸	100%		平成21年度
(達成率分析)	民宿実施者4戸の改修を行った。						
*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	
(達成率分析)							

**実施(DO)** ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 件	4	4	0	4	4					
	②										
成果指標	① 戸数	4	4	0	4	4					
	②										
総事業費C(A+B)	千円	6,220	6,220	2,100	4,120	4,120					
直接事業費A	千円	3,420	3,420		3,420	3,420					
人件費B	千円	2,800	2,800	2,100	700	700					
内訳	従事職員数	人	0.4	0.3	0.1	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	6,220	6,220	2,100	4,120	4,120				

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	農林漁業体験民宿推進のため必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	農林漁業の体験の場を整備することで、農林漁業の推進を図る。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	体験型観光との連携により、交流人口の増加が見込める。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	現制度にて充分である。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	農林漁業体験民宿の減少が懸念される。
	類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	類似事業がない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	事業内容からみてできない。
	人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	現在の人件費を削減することは事業推進上できない。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	適正である。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		有効性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		効率性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
	課題に向けた改善策	特になし	
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
有効性		補助の目的が体験型・滞在型観光の推進にあり、成果として関係者と連携しながら観光客の誘客を図り島内外交流の推進を図るよう努めること。	
効率性		補助金の支出については、内容を十分審査し適正な執行を行うこと。	

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。